

The 299th Programming Deliberation Committee
第299回番組審議会 議事録

開催日 2026 年 6 月 16 日(火)

出席者：山田吉彦委員長、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題（審議番組）：『**TMNETWORK スケルラジオ**』

放送日時： 2026 年 5 月 13 日（水） 22:30-23:00

DJ：TMNETWORK

会社からの説明

常に日本の音楽シーンを牽引し、今も尚、絶大な人気を誇る
TMNETWORKをDJに据えたこの番組は、
彼らの音楽のルーツとなった「かけがえのない1枚のアルバム」や、
大きなインスパイアを受けた「1曲」を、メンバーひとりひとりが想いを込めて語り、
そこからTMNETWORKのこれまで、そして、
これからが“透ける”ように見えてくることをコンセプトにしています。

委員からの意見・感想

【審議委員 A】

ファンじゃなくても楽しめる番組だと感じた。

音楽のルーツを語るというオーソドックスな手法だが、大御所アーティストの方々が
リスナーをアマチュア扱いせず、真面目に深い分析をして語ってくれる姿勢に好感を持った。
彼らが楽しそうに音楽について語る姿は、ドキュメンタリーとして非常に魅力的と思った。

【審議委員 B】

昔の話をしているのに今の時代っぽさがあり、東京の街並みにもフィットするかつこよさがある。
「聴く・見る・読む」という複数のメディアで展開されている点も素晴らしく、
ラジオの音声単体だと難解になりがちな部分を、
映像のテロップ等で補完できる仕組みになっているのは、理にかなっていると思った。

【審議委員 C】

今まで聴いたラジオ番組の中で、一番興奮した。

ピーター・ガブリエルの話など、一般のリスナーにはマニアックすぎるかもしれないが、
TMNETWORK が今の時代に、ここまで深い音楽論や業界の裏側を語ってくれることが非常に貴重で、
ファン向けにとどまらず、
音楽業界の人間が聴いても納得するような、深い番組として大成功していると思う。

【審議委員 D】

3 人が、バランスよく喋ることは難しいと思うが、
本当に好きな話をしていたり、今も情熱を絶やしていないことに感動した。

【審議委員 E】

誰が喋っているのか声だけだと分かりにくいという課題はあるが、
逆に言えば、あえて説明しすぎないことで、業界の裏話を覗き見しているような感覚になり、
それが番組の深みや面白さに繋がっているのだとも思う。
非常に丁寧に作られた、良質な音楽番組である。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上